

令和元年度 第5回豊能町教育委員会会議（8月定例会）会議録

日 時： 令和元年8月26日（月） 午後1時00分開会

場 所： 豊能町役場2階 大会議室

出席者：	教育長	森田 雅彦
	教育長職務代理者	宮崎 純光
	教育委員	太田 佳子
	教育委員	川村 新
	教育委員	岸本 恵子
	教育委員	坂口 敏子
事務局：	教育次長	八木 一史
	教育総務課課長	入江 太志
	教育支援課課長	内野 慎也
	子ども育成課長	田家 充
	生涯学習課課長	中谷 匠
	教育総務課課長補佐	中谷 康彦

傍聴者： 4名

会議次第

○審議事項

第7号議案 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告について

開会 午後1時00分開会

（議 長）

それでは、会議をはじめます。

ただいまの出席人員は6名であります。過半数に達していますので、令和元年度第5回豊能町教育委員会会議（8月定例会）を開会いたします。

会議録署名人を宮崎職務代理にお願いいたします。

（議 長）

本日は、審議事項1件を議題とさせていただきます。

まずは、第7号議案「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告について」でございます。

事務局より説明をお願いします。

（事務局）

第7号議案「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告」につ

きましてご説明申し上げます。

本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、報告するものです。

点検・評価の報告方法につきましては、昨年より全庁的に実施しております事業評価の取組みを活用し、教育委員会が予算執行・管理している全ての事業に係る事業評価シートにより報告させていただいております。

事業評価シートについては、主要な部分をお渡ししておりますが、事業評価シートをご覧くださいと思います。各事業のシートにつきましては、総合計画等の関係する計画、関連指標と1. 概要、2. 構成事務事業、3. 主な成果、4. 課題整理、5. 総合評価、6. 改善の方向性という区分でまとめております。

各課が所管している事業数につきましては、教育総務課が23事業、教育支援課が4事業、子ども育成課が6事業、生涯学習課が13事業の計46事業となっております。

なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により、点検・評価を行うにあたっては、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされていることから、学識経験者による意見の聞き取り・意見交換等を行っております。学識経験者としては、昨年と同様に兵庫教育大学大学院学校 教育研究科 鈴木正敏准教授からいただいたご意見・要望を付けております。

次に、各課の事業評価シートにつきまして、主なもの、特に課題のあるものや、取り組みの成果等があったもの等について各課ごとに順次ご説明していきます。

(教育総務課)

それでは、教育総務課に係る事業でございますが23事業でございます。主なものについてご説明いたします。

教育総務課のシートの9～10頁をお開きください。学校園管理事業でございます。

この事業の2つ目の、小中一貫教育等推進事業でございますが、平成29年2月に教育大綱が改定され、大綱で示された保幼小中一貫教育の方針に基づき、平成30年5月より11月までの間、保護者説明会を26回、地区説明会を4回開催致しました。また、平成30年度から2年かけて、保幼小中一貫教育施設の基本計画と基本設計を作成する業務委託契約を締結し、平成30年度は基本計画策定に向け作業を進めておりました。しかしながら、池田前町長の死去に伴い、平成30年度に予定していた基本計画の策定作業を中断しておりましたが、今年3月の町長選挙で就任された新町長は、大綱で示されている保幼小中一貫教育の方針とは異なる方針を示されたことから、当該基本計画については、策定作業を中断した時点での出来高で支払い、その後今年に入って業者との協議を経て、当該業務委託契約を解除した次第でございます。

現在、新たな保幼小中一貫教育について、教育委員会と首長部局で協議しておりますが、今後、総合教育会議での議論や教育大綱等で新たな保幼小中一貫教育の方針が示され、学校再編を進め、教育環境の充実を図ることが課題であると認識しております。

次に13～14頁の就学援助事業でございます。昨年度課題としてあげておりました新入学生の学用品等の学校入学前の支給について、昨年11月に要綱を改正し、入学前支給を実施いたしました。昨年度では18名の入学前支給を行い、一定の成果があったものと認識し

ており、評価もCからAに見直しさせていただきました。

17～18頁の小学校管理事業でございます。平成30年度では小学校では、大きな修繕工事は実施しておりませんが、平成30年6月18日に発生した大阪北部地震により、校内の危険ブロック塀等の撤去及び改修を実施いたしております。

次に27～28頁の小学校教育振興事業でございますが、小中学校におきましては、昨年度に引き続きしてタブレット、大型モニター等のICT機器の導入を継続して行っております。なお、教材の電子化による機器整備については、多額の財政負担が伴うことが予想されるため、どの様に整備を進めるかは今後の課題であると思っております。

次に29～30頁の中学校管理事業でございます。これも小学校と同様に、大阪北部地震の影響で東能勢中学校内の危険ブロック塀等の撤去及び改修を実施いたしました。中学校給食については、引き続き食育、地産地消、生徒の希望を取り入れたデザート等のメニューの工夫、生徒会の工場見学も行うなど、引き続き給食の改善に向け取り組んでいきたいと思っております。

続いて35～36頁の中学校教育振興事業でございますが、これも小学校同様、タブレット、大型モニター等のICT機器の導入をしております。今後の情報機器の整備については、小学校と同様に課題であると思っております。

次に45～46頁の公立学校施設災害復旧事業でございます。これにつきましては、9月4日発生した台風21号により、光風台小学校の体育倉庫の屋根や吉川中学校のプールのフェンスや庇が被災したことによる災害復旧事業を行っております。

以上、小中学校、園所の施設を行っている各管理事業については、施設の老朽化が進み、施設管理については課題があるものとして認識しています。また、学校園所の営繕を行う技師が不足していることも課題です。財政状況が厳しいため、不具合等が発生すれば修繕等で対応しておりますが、抜本的な改修が必要と思っております。

教育総務課の事業の説明は以上でございます。

(教育支援課)

引き続きまして教育支援課の事業について、ご説明させていただきます。

1～2頁をご覧ください。学校教育充実事業では、小事業で学校校育充実事業がありますが、そこでは3市2町の総合教育研修や管理職研修、豊能町における夏季教職員研修等の事業を行っております。昨年度は2頁の上にも書いておりますが、新学習指導要領が適切に実施できるように教職員の研修等を行わせていただきました。また管理職にはグランドデザインの理解を深めていただくための研修も行うことができました。東ときわ台小学校での研究開発の研究内容を深めたり、学力向上プランが平成29年からスタートしていますがその2年目として、「主体的で、対話的で深い学び」の授業改善が進むことができたと思います。課題としては、教職員研修については先生方の多様なニーズがある中で、毎年必要な研修とその年に必要な研修を分けて行っていく必要があると思っております。

続きまして3～4頁のところ、学校運営事業です。こちらは毎年、学校協議会の予算として使っている事業で、今年度も協議委員のご意見を参考に学校の取り組みの工夫改善等を進めてまいりました。改善の方向性として4頁下に書かせていただいておりますが、今後、令和4年度を目標に、学校協議会から学校運営協議会（コミュニティスクール）への移行等も考えていかなければならないと考えています。この令和4年度というのが、いま努力義務に

されていますが、それが義務化されるのではという年度になっております。

続きまして5～6頁のところ、人権・地域教育充実事業です。こちらは人権教育の理念を根底におきながら先生方が人権教育に教育活動の中で進めていけるように授業を展開させていただきました。特にいじめ事案の初期対応や保護者対応に専門家が関わりが出来るように昨年度より学校問題調査対策委員会を設置し、学校の支援を進めることができました。

最後に7～8頁でございます。児童生徒健全育成充実事業ですが、支援教育に関わって巡回指導を専門家の先生にお願いをし、教員のスキルアップ、または児童生徒に直接指導を行い、指導を充実させるという事業を今年度も行うことができましたが、8頁下、改善の方向性に書かせていただいておりますが、それとは別に支援学校の先生方によります支援授業の活用事業があり、こちらを活用し先生方に直接的な指導に継続的に関わっていただいたりしております。今後、日常的に支援教育がさらに充実するような手立てができないかと先生方からニーズが上がっておりますので、その辺りを教育委員会としても考えていきたいと感じております。

(議 長)

続きまして、子ども育成課の報告をお願いします。

(子ども育成課)

子ども育成課は6事業ありまして、1と6については平成30年度までは教育総務課、2～5に関しましては教育支援課の管轄となっております。その部分を今年度より子ども育成課ができましたので、当課でご報告させていただきます。

1つ目の障害児福祉事務事業ですが、これは障害児の通所に関する給付費です。続きまして子育て支援センター運営事業に関しましては、子育て支援センター運営事業、ファミリーサポートセンター運営事業、家庭訪問型早期子育て支援事業です。特に家庭訪問型早期子育て支援事業につきましては、誕生・1歳6ヶ月までを対象に保健師・保育士等を交え全戸を家庭訪問しまして、全体を把握しております。

続きまして3枚目をご覧ください。これが昨年度新たに行った事業で、子育て世代包括支援センター（基本型）運営事業でございます。子育て支援センターすきっぷの隣りに基本型で部屋を設け、また母子保健型で保健福祉センターに部屋をそれぞれ設けまして、連携して運営しております。事業内容は、妊娠期から子育て期に渡るまで、地域の特性に応じ、「専門的な知見」と「当事者目線」の両方の視点を活かし、必要な情報を共有して切れ目なく支援する。目的としましては、ニーズに応じた必要なサービスを円滑に利用できるよう、切れ目のない支援を行う。地域の様々な関係機関とネットワークを構築するということで、平成30年度の事業としては運営事業と開設準備事業があり、開設準備事業は主に部屋の工事費、備品購入の部分、運営事業は人件費等となっております。基本型におきましては、専門の者を常駐させ、相談に応じることをやっております。平成30年度は母子保健事業と相互に連携しながら安心して妊娠期を過ごし、出産・子育てができるよう情報提供や相談支援を行ったところでございます。相談件数は40件程、ありました。

続きまして、幼児教育・保育の充実事業は、各園所で研究して制度を設けまして、学力の向上指導員の協力を得まして主体的に研究活動に取り組み、各園所において研究保育を行いました。研究保育は17回行っております。

5つ目として、子育て支援環境の充実事業。小事業が5つございまして、児童虐待防止対策事業、子育て支援環境の充実事業、子育て支援地域交流充実事業、障がいのある児童・生徒へのサポート相談事業、放課後児童クラブ地域連携充実事業です。これらの事業は昨年と内容は変わりません。

最後が子ども・子育て支援事業で、これに関しましても昨年と同様の活動となっております。報告は以上です。

(議長)

続きまして、生涯学習課の報告をお願いします。

(生涯学習課)

生涯学習課の報告につきましても、概ね例年と同様の事業を行っているものは省略させていただきます。

3～4頁の青少年健全育成事業は、青少年文化スポーツ育成補助事業を新設し、海外の大会に出場された方、2名に対しまして10万円ずつ、合計20万円を支出しております。

5～6頁、西公民館管理事業では、漏水原因特定調査と大会議室照明のLED化、電気設備の更新工事、1階南側出入口改修工事を行っております。

続きまして9～10頁、図書館運営事業では、利用者用のインターネット閲覧用端末の設置を行っております。

11～12頁、図書館管理事業では、物置の設置と屋根復旧事業の実施設計業務を行っております。

13～14頁、ユーベルホール管理事業では、総合防災盤改修工事とワイヤレスマイクシステム更新を行っております。

23～24頁、シートス管理事業では、空調設備(チラー)と屋根復旧工事に係る実施設計業務を行っております。

25～26頁、生涯スポーツ推進事業では、箕面森町妙見山麓マラソン大会の代替事業として、シートスにおきまして10月8日にスポーツフェスティバル事業を行っております。報告は以上です。

(議長)

それでは、説明に対しましての質疑を受けたいと思います。

(委員)

子育て支援の3頁出てくる「アウトリーチ型」というのはどういうことかを教えていただきたいのと、5頁の「ワンストップ相談窓口」を教えてください。

(事務局)

まず5頁の「ワンストップ相談窓口」ですが、相談に来られた時に色々な相談に対して、あちこちに窓口を振るのではなく、その相談を受けた一つの窓口で他所と連携して相談を進めるといったような窓口を指します。

(事務局)

「アウトリーチ型」ですが、当事者にこちらに来てもらうのではなく、担当者が直接ご自宅や事業所等に出向いて、相談や支援を行うといった意味合いです。

(委員)

図書館の件で、利用者用のインターネットを設置されて実際の利用、活用がどのような状況にあるのか教えてください。

(事務局)

いま手元に資料がございませんので、次回報告させていただきます。

(委員)

図書館管理事業の総合評価がCですが、もうどうにもならない状況ですか。

(事務局)

老朽化が進んでいる箇所としまして台風の影響で屋根が飛んだこともあります。それ以外にも雨漏りが色んな箇所で起こっております。システムやコンピュータもありますので大規模な屋根の改修が必要であることが1点と、エアコンも老朽化しており今年度実施設計を組んでいます。施設自体も手狭であり、書籍が保管できないでおります。これは図書館だけではなく、他の施設でも同じようなことが起こっております。

(委員)

教育総務課の16頁、奨学金の事業についてですが、貸与型だと返済していくのが大変負担になってくるので、給付型を考えて欲しいのと、高等教育の無償化も言われていますので、いまある奨学金の制度も改めて考えて欲しいと思います。

27～28頁ですが、教科書のデジタル化が進められていて、今回も新しい教科書を見させていただいておりますが、タブレットがやはり一人1台あった方が教育効果はあったと思うので、是非お願いしたいと思います。中学校の方も。

29～30頁の中学校の給食ですが、残渣がある。学校訪問で中学生と一緒にいただいたのですが、食べる時間が短くて時間内に食べるのはしんどかったです。なので給食時間の確保も考えていただきたいと思いました。

(事務局)

奨学金の件ですが、国の方でも給付型が検討されている状況です。その状況を踏まえて、検討をしていきたいと思います。タブレット等機器の整備については、費用の件が絡んでくる問題ですので、財政と協議をしたいと思います。学校給食につきましては、一定残渣あることは事実でございます。いま令和4年度までの契約をしておりますが、現状の方針ではその後は自校方式で再編するということですので、再編時には見直せないかと思っております。現在、残渣が少なくなるように、食育やメニューの改善、給食調理の工場見学をやっております。

(委員)

子ども育成課と生涯学習課の事業報告ではAが無いのですが、その辺りが弱いのかなと。色々な事業を展開していただいているのですが、何か改革が必要なのかなと思います。施設の老朽化など、住民の力＝カンパなどを募るような仕組みづくりや町ぐるみでクラウドファンディングみたいなことはできないのかなと思いました。ただ税金を取られるだけでなく、自分がカンパしたことで、「ここが修繕できた」というように目に見えた形があった方が良いと思います。

(委員)

特に生涯学習課ですが、A評価がありません。施設が老朽化しており、雨漏りもしています。住民の皆様には快適な状況で使ってもらえていないのが前提にあり、評価を下げております。いま生涯学習課では、個別施設計画を作っております。それは長寿命化するためにどのようなことをしなければならぬか、費用がどのくらい掛かるのかを算定するものです。これができましたら、どの施設をどれくらいかけて直すのか等が判断できます。

クラウドファンディング等の話ですが、ふるさと寄付の寄付目的でユーベルホールの項目を入れておりますが、極めて少額でほとんど集まっていない状況です。ユーベル存続の署名があつたにもかかわらず、実際には集まっていない状況です。その辺りは、町部局と検討して考えていきたいと思っております。

(委員)

ふるさと寄付のユーベルのところに寄付が集まってないのは、やり方の問題だと感じています。正解があるかどうかは分かりませんが、全てにおいて役場がやり過ぎているように感じます。もっと住民に振るといふか、みんなで町をつくっていく体制にしたいなと思っております。

(委員)

先生方の研修について企画するのが大変な中、小中一貫教育については、能勢町は進んでいて、豊能町はこれからという段階なので、豊能町独自のテーマで開催しなければならないのかと思っております。豊能町全体で保幼小中一貫教育盛り上げていくことをお願いしたいと思っております。

それと学び舎について東西の利用状況を教えてください。

あと子育て支援包括センターのチラシですが、内容がとてもよかったですと思います。感想です。

(委員)

研修の件ですが、3市2町に人事権が移譲してから3市2町で研修を実施しており、近くで充実した研修が受けれることになりましたし、豊能町にも他市の方が足をのばしてくれるようになり、内容は充実してきたように思います。一方で働き方改革の中で、今後色々な研修がなる中で絞っていく必要があるのかとも思っています。いま先生方が研究会としてやっていただいている町の教科教育研究会というのがあります。その中で今年から小学校の先生と中学校の先生と一緒に授業内容を考えて、一緒に授業をする。それを町内の先生全員

で見合うという形のものをはじめます。そうすることによって、小中それぞれの先生方の考え方を理解することに繋がっていくかと思っております。まだ初めてで、1月末に予定していますが、先生方の負担が少ない形で、豊能町の小中一貫教育が少しずつでも進んでいくようにやっていきたいと思っております。

また学び舎ですが、西公民館と中央公民館で各20名程度参加してもらっています。中央公民館は30名近くいます。いま現在、申し込んで参加できない子はいません。教えていただいているのが教員OBの先生を中心に地域の方にもお世話になっていますが、その先生の確保が難しい状況が毎年あります。先ほど委員からお話があったように地域で子どもたちを見守っていただくという気持ちを引き出せるように宣伝の仕方等も考えていかなければならないと思っております。

(委員)

2点、お願いがあります。総務課のタブレットの1人1台が予算のこともあり、なかなか難しいとの話があったのですが、今年教科書採択があつて教科書を見せてもらったら、色々な教科でQRコードがあり、そこから見なければならぬ状況もあります。大半の子どもたちは家庭で見ることにはできるのですが、こうやって使うのだなという指導は学校でしてあげて、家庭での学習に繋げるようにしてあげて欲しいのが1点です。

もう1点は支援課で学校協議会が令和4年度を目途にコミュニティスクールの関係で学校運営協議会に変えていく話がありましたが、一つ気になっていることは、いま学校再編の話がなかなか進んでいない中で、例えば西地区3小学校で学校運営協議会を作っている、そこをまた一つにまとめて行くのは大変なことだと思います。学校協議会も各学校のスタイルがあつて、運営協議会になるとまた色々なスタイルができると思うのですが、やっとスタイルができたかと思うと、また学校再編成があつたりしたら、学校の先生方、特に管理職の方はすごく負担になると思います。例えば豊能町が考えている学校運営協議会の在り方をパターン化するなどしないと大変なことになるのではないかと思います。再編が早く進むことを望むばかりです。

(事務局)

タブレットですが、現在小学校、中学校とも十数台ずつという状況です。今後の整備については学校再編が大きくかかわってくると思いますが、一つの考えとしていま情報教室でパソコンが40台程度ありますが、それを着脱式のパソコンにするとタブレットとしても利用できるということになります。このようなことが進めれば各校のタブレットの確保は少しずつできていくのではないかと計画もしている段階です。学校再編と予算をしっかりと見据えてやる必要があると思っております。

コミュニティスクールの件ですが、委員のおっしゃる通りで、一度形を作ってしまった、またそれを作り直すのは大変難しいことになるかと思っておりますので、計画段階から再編を見据えて計画をさせていただき、コミュニティスクールの形というものを考えていきたいと思っております。

(議長)

質疑はこれで終結したいと思います。

只今説明のありました

第7号議案「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告について」、賛成の方の挙手を求めます。

＝ 採択の挙手 ＝

挙手全員であります。よって第7号議案は可決されました。

(議長)

続きまして、前回会議以降の各課の報告に移ります。

順次、事務局より報告を求めます。

(事務局)

- ・ 8/15-16 台風10号の被害状況報告…甚大な被害なし
- ・ 9月議会の予定報告

教育総務課

- ・ 留守番電話入札不調、今後の対応について

教育支援課

- ・ 夏休み中の熱中症について…大きな事故無し
- ・ 本日より中学校2学期開始

子ども育成課

- ・ 8/19 豊能町要保護児童対策協議会の報告について

生涯学習課

- ・ 事業予定について

(議長)

ご意見、ご質問等はいかがでしょうか。

(議長)

以上で、本日の議事はすべて終了いたしました。

8月の豊能町教育委員会会議につきましては、9月25日(水)午前9時30分より開催させていただきます。

次に10月の教育委員会会議の日程調整ですが、10月24日(木)から30日(水)のいずれかの日で、午前9時30分から開催したいと考えています。

委員の皆様のご都合はいかがでしょうか。

= 日程調整 =

それでは、10月の教育委員会会議は、10月30日（水）午前9時30分からお願いします。

（議長）

以上をもちまして、令和元年度第5回豊能町教育委員会会議（8月定例会）を閉会いたします。

本日は、お疲れ様でした。

閉会 午後2時17分